



アクセス ポイント グループの設定

- 機能情報の確認 (1 ページ)
- AP グループを設定するための前提条件 (1 ページ)
- アクセス ポイント グループの設定に関する制約事項 (2 ページ)
- アクセス ポイント グループについて (3 ページ)
- アクセス ポイント グループの設定方法 (3 ページ)
- その他の参考資料 (5 ページ)
- アクセス ポイント グループの機能履歴と情報 (6 ページ)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このマニュアルの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

AP グループを設定するための前提条件

次に、デバイスでアクセス ポイント グループを作成するための前提条件を示します。

- VLAN またはサブネットにサービスを提供するルータ上で、必要なアクセス コントロール リスト (ACL) を定義する必要があります。
- アクセス ポイント グループ VLAN では、マルチキャスト トラフィックがサポートされません。ただし、クライアントがあるアクセス ポイントから別のアクセス ポイントにローミングする場合、IGMP スヌーピングが有効になっていないと、クライアントによってマルチキャスト トラフィックの受信が停止されることがあります。

関連トピック

[アクセス ポイント グループについて \(3 ページ\)](#)[アクセス ポイント グループの設定に関する制約事項 \(2 ページ\)](#)

アクセス ポイント グループの設定に関する制約事項



(注) Cisco IOS XE Denali 16.3.5 では、AP グループを WLAN にマッピングする動作が変更されています。このリリースからは、WLAN を設定してから AP グループにマッピングする必要があります。同様に、WLAN を削除するには、その前に WLAN から AP グループのマッピングを解除する必要があります。

以前は、WLAN が先に設定されていなくても WLAN を AP グループにマッピングできました。また、AP グループにマッピングしたままでも WLAN を削除できました。

- AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングが、WLAN インターフェイスと同じであるとしします。WLAN インターフェイスが変更されると、AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングも新しい WLAN インターフェイスに変わります。

AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングが、WLAN に定義されたインターフェイスと異なるとしします。WLAN インターフェイスが変更されても、AP グループ テーブル内の WLAN に対するインターフェイス マッピングは新しい WLAN インターフェイスに変わりません。

- デバイス上の設定をクリアすると、アクセス ポイント グループのすべてが非表示となります。ただし、デフォルトのアクセス ポイント グループである「default-group」（自動的に作成される）は例外です。
- デフォルトのアクセス ポイント グループには、最大 16 の WLAN を関連付けることができます。デフォルトのアクセス ポイント グループの WLAN ID は、16 以下である必要があります。大規模なデフォルトのアクセス ポイント グループ内で ID が 16 以上の WLAN が作成されると、WLAN SSID はブロードキャストされません。デフォルトのアクセス ポイント グループのすべての WLAN ID で ID が 16 以下であることが必要です。16 を超える ID を含む WLAN は、カスタム アクセス ポイント グループに割り当てることができます。
- 同じ AP グループと同じ FlexConnect グループに属しているメッシュ ツリー（同じセクター）内のすべてのフレックス+ブリッジ AP は WLAN-VLAN マッピングを正しく継承するように設定することをお勧めします。

関連トピック

[アクセス ポイント グループについて \(3 ページ\)](#)[AP グループを設定するための前提条件 \(1 ページ\)](#)

アクセスポイントグループについて

デバイス上に最大512のWLANを作成した後では、さまざまなアクセスポイントにWLANを選択的に公開（アクセスポイントグループを使用して）することで、ワイヤレスネットワークをより適切に管理できます。一般的な展開では、WLAN上のすべてのユーザはデバイス上の1つのインターフェイスにマップされます。したがって、WLANに接続しているすべてのユーザは、同じサブネットまたはVLANに存在します。しかし、複数のインターフェイス間で負荷を分散すること、またはアクセスポイントグループを作成して、個々の部門（たとえばマーケティング部門）などの特定の条件に基づくグループユーザへと負荷を分配することを選択できます。さらに、ネットワーク管理を簡素化するために、これらのアクセスポイントグループを別個のVLANで設定できます。

関連トピック

- [アクセスポイントグループの作成](#) (3 ページ)
- [アクセスポイントグループの表示](#) (5 ページ)
- [APグループへのアクセスポイントの割り当て](#) (4 ページ)
- [APグループを設定するための前提条件](#) (1 ページ)
- [アクセスポイントグループの設定に関する制約事項](#) (2 ページ)

アクセスポイントグループの設定方法

アクセスポイントグループの作成

始める前に

この操作を実行するには、管理者特権が必要です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	ap group ap-group-name 例： Device(config)# ap group my-ap-group	アクセスポイントグループを作成します。
ステップ 3	wlan wlan-name 例： Device(config-apgroup)# wlan wlan-name	WLANにAPグループを関連付けます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	(任意) vlan <i>vlan-name</i> 例： Device (config-apgroup) # vlan test-vlan	VLAN にアクセス ポイント グループを割り当てます。
ステップ 5	end 例： Device (config) # end	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

例

次に、AP グループを作成する例を示します。

```
Device# configure terminal
Device(config-apgroup) # ap group test-ap-group-16
Device(config-wlan-apgroup) # wlan test-ap-group-16
Device(config-wlan-apgroup) # vlan VLAN1300
```

関連トピック

[アクセス ポイント グループについて](#) (3 ページ)

AP グループへのアクセス ポイントの割り当て

始める前に

この操作を実行するには、管理者特権が必要です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ap name <i>ap-name</i> ap-group-name <i>ap-group</i> 例： Device# ap name 1240-101 ap-groupname apgroup_16	アクセス ポイント グループにアクセス ポイントを割り当てます。次のキーワードと引数があります。 <ul style="list-style-type: none"> • name : このキーワードに続く引数がデバイスに関連付けられている AP の名前であることを指定します。 • ap-name : AP グループに関連付けた AP。 • ap-group-name : このキーワードに続く引数が、デバイスで設定された

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>APグループの名前となるように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>ap-group</i> : デバイスで設定されたアクセスポイントグループの名前。

関連トピック

[アクセスポイントグループについて \(3 ページ\)](#)

アクセスポイントグループの表示

始める前に

この操作を実行するには、管理者特権が必要です。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<p>show ap groups [extended]</p> <p>例 :</p> <p>Device# show ap groups</p>	<p>デバイスで設定された AP グループを表示します。extended キーワードは、システムで詳細に定義されているすべての AP グループ情報を表示します。</p>

関連トピック

[アクセスポイントグループについて \(3 ページ\)](#)

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
WLAN コマンド	『 <i>WLAN Command Reference, Cisco IOS XE Release 3SE (Catalyst 3850 Switches)</i> 』
Lightweight アクセスポイントコンフィギュレーション	『 <i>Lightweight Access Point Configuration Guide, Cisco IOS XE Release 3SE (Catalyst 3850 Switches)</i> 』
Lightweight アクセスポイントコマンド	『 <i>Lightweight Access Point Command Reference, Cisco IOS XE Release 3SE (Catalyst 3850 Switches)</i> 』

エラー メッセージ デコーダ

説明	リンク
このリリースのシステムエラーメッセージを調査し解決するために、エラー メッセージ デコーダ ツールを使用します。	https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Errordecoder/index.cgi

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

シスコのテクニカル サポート

説明	Link
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	http://www.cisco.com/support

アクセス ポイント グループの機能履歴と情報

次の表で、このモジュールで説明した機能をリストし、特定の設定情報へのリンクを示します。

機能名	リリース	機能情報
AP グループ数	Cisco IOS XE 3.2SE	この機能が導入されました。